

大使館安全情報

【邦人被害に伴う注意喚起】

2016. 8. 8

在アルゼンチン日本国大使館
警備対策官兼副領事

邦人被害事件等

- 事件① ピラニア強盗傷害被害
- 事件② ケチャップ強盗被害(未遂)
- 事件③ 車両運転中の強盗被害
- 事件④ 車上荒らし被害
- 事件⑤ 電車内でのスマートフォン盗難被害

【注意喚起】

ポケモントレーナーへのお願い

事件①「ピラニア強盗傷害被害」

【日時】2016年4月17日(日)12:00頃

【場所】サン・マルティン公園内

【被害】暴行、所持していたバックパック、手提げバッグ(現金・カード・パスポートは、服の下に装着したポーチに入れており被害を免れた。)

【怪我】顔面及び上半身の打撲、頭部刺傷による半身傷害・言語障害

【概要】

邦人男性が一人で当地を旅行中に被害に遭ったもの。被害当日は、早朝の飛行機でウルグアイへ渡航する予定であったことから、朝6時に宿泊場所をチェックアウトした。その後の行動詳細は不明であるが、サンマルティン公園内で被害に遭い、うずくまっているところを通行人により通報されたのが12時頃であった。日曜日であり、また前夜から雨が続けていたことから午前中の人通りは殆ど無かったものとみられ、被害当時の目撃情報はなかった。頭部を刺されたことにより、被害者に自身も被害の詳細をはっきりとは覚えていなかった。

発見後、直ちに病院へ救急搬送され、一時は生死に関わる状態であったが、緊急手術と約1ヶ月におよぶ集中治療室等での治療を経て、当国へ救援に訪れた親族とともに本邦へ医療搬送された。

事件①被害位置図



【被害位置(Plaza San Martin)】

ブエノスアイレス市中心部の広場であり、多くの観光客が訪れる場所でもあるが、すぐ近くにビジャ31があることから、これらの人々を狙っての引ったくりやマスタートド強盗等の犯罪も後を絶たない。

事件①教訓事項等

【事件当時の細部状況等】

- 被害に遭った時間は日曜日の朝6時から12時頃であり、前夜からの雨も相まって**人通りは殆ど無かった**。
- 5～6人ほどの若者による犯行だった。(被害者本人の記憶による。)
- 強盗に遭った際、**被害者が抵抗したことにより暴行がエスカレートしたものと思われる**。
- 頭部の刺し傷は、右こめかみ付近から左脳の一部まで達しており、危険な状況だった。
- 被害者は、**貴重品をポーチに入れ、服の下に装着していた**ことで貴重品盗難を免れた。

【再発防止策】

- 早朝や深夜等、**人通りが少ない時間帯における一人歩きは努めて避ける**。
- 万が一被害に遭った際は、たとえ相手が若者であっても**決して抵抗しない**。
- 周囲の状況に気を払い、不審者や怪しい兆候を確認したら**すぐにその場を離れる**。
- 不慣れな土地の場合は**十分な下調べ**を行い、現地で迷わないようにする。
- 徒歩で移動する場合には、目的地を明確にし、努めて**スタスタと歩く**ようにする。

【警備対策官コメント】

本事件は目撃者がおらず、また、被害者本人も事件当時の記憶が曖昧であったことから、正確な事件の状況は明らかになっていません。被害場所であるサン・マルティン広場は、**過去にも多くの旅行者等の被害が報告されている場所**でもあり、同広場の近くを訪れる際には十分注意が必要です。

一般に強盗は銃器を所持しているものと考えるべきであり、万が一襲われた際には、**両手をあげ、決して抵抗しないのが鉄則です**。また、自ら財布を取り出す等、**抵抗と勘違いされる動作も決してしないことも重要です**。

事件②「ケチャップ強盗被害(未遂)」

【日時】2016年4月40日(土)

【場所】コルドバ通りの歩道

【被害】なし

【怪我】なし(ケチャップの様な液体をかけられたのみ。)

【概要】

邦人男性がコルドバ通りを歩行中、後ろから液体をかけられたが、ケチャップ強盗と気づき、直ぐさまその場を離れたため実被害を免れたもの。

後日、大使館へ被害状況をメールにて報告していただいた。(次ページ参照。)

大使館へ寄せられたメールによる情報提供内容

差出人: [REDACTED]
送信日時: 2016 年 5 月 2 日 12:18
宛先: TAISHIKAN
件名: ケチャップ強盗未遂の件
アルゼンチン大使館
担当者様

私、[REDACTED]といいます。4/24-30 まで、ブエノスアイレスの Hotel Regal Pacific に 1 週間滞在していましたが、4/30 の土曜日、ホテル近くの路上でケチャップ強盗に会いかけました。

旅のしおりで手口は把握していましたが、少々人通りが少なくなった瞬間、後頭部に何かを感じ、手で触ると緑色のケチャップがべったりついていました。背中にも大量のケチャップをかけられましたが全く気配を感じませんでした。

振り返ると、何日もお風呂に入っていないような身なりをした気さくそうな 50 代ぐらいのおばさんがスペイン語で近寄ってきましたので、一瞬でケチャップ強盗と判断し、駆け足でその場を立ち去りました。

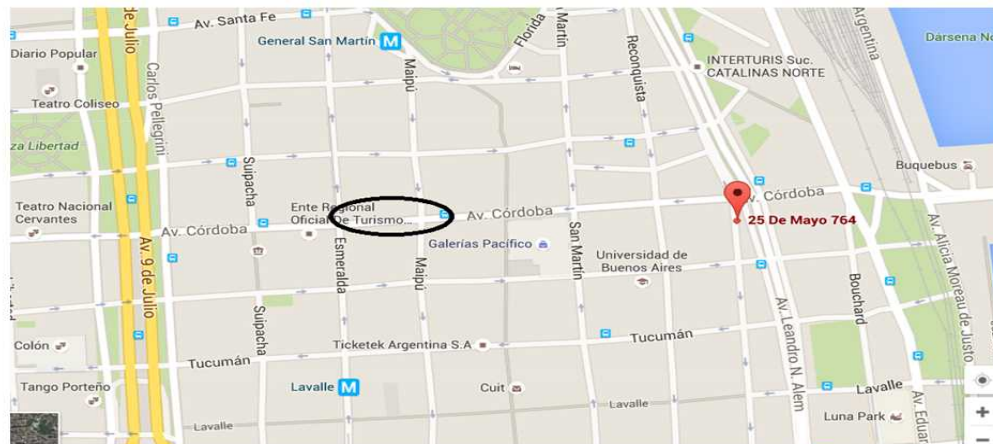
身の危険は感じませんでしたが、おそらく拭いてあげる振りをして私の肩からかけていたバッグを盗もうとしたと思われます。

場所の詳細はよく覚えていませんが、Cordova 通り沿いの黒丸で囲んだ辺りだったと思います。

ホテルを出て大通りまで散策していたのですが、人通りがなくなった瞬間でしたので、どこかからつけられていたと思われます。

幸い被害には遭いませんでしたが、今後同じ場所を訪れる日本人に少しでも参考になればと思い、メール差し上げました。

ご参考になれば幸いです。



事件③「車両運転中の強盗被害」

【日時】2016年5月3日(土) 20時10分頃

【場所】NUÑEZ地区のAMENABAR通りとCRISOLOGO LARRALDE大通りの交差点

【被害】財布、現金、仕事で使っていた道具、請求書、身分証明書、自宅及び両親の家の鍵など。

【怪我】なし

【概要】

仕事を終えて車で帰宅していた日系人女性が、ブエノスアイレス市NUÑEZ地区のAMENABAR通りとCRISOLOGO LARRALDE大通りの交差点で信号待ちをしていたところを、**バイクに乗った2人組の男に突然助手席側の窓を割られ、同席の足下に置いていたバックと鞆を奪われた。**犯人は、そのままAMENABAR通りを通して逃走した。

バックと鞆の中には、現金が入った財布や仕事で使っていた道具、請求書、身分証明書、自宅や両親の家の鍵などが入っていた。

車両運転中の強盗被害



犯行現場付近 (Av. Amenabar) の状況



道幅は狭く、路駐車両があるため、事実上1車線の道路であり、追い越しや離合等が出来ない。

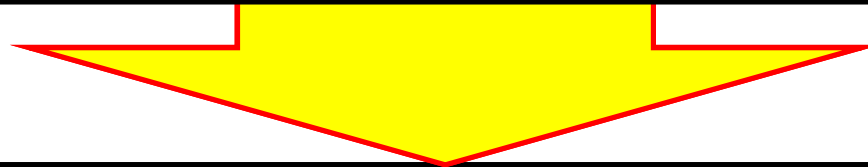
街灯のない通りであり、夜間は周囲の状況が見えにくくなる。



被害当時の状況等

【事件当時の細部状況等】

- 被害に遭った時間は**夜8時頃**であり、道路は混んでいた。信号待ちの際は、前に少なくとも7台程度の車が停車中だった。
- 窓ガラスにはフィルムを貼っていなかったが、ガラスそのものに色が付いているタイプだったため、一瞬でガラスが粉々になった。
- **普段は荷物をトランクに入れているが、たまたまその日は急いでいて、助手席(足元)に置いてしまった。**
- いきなり窓ガラスを割られ、男が身を乗り出して上半身を車内に入れると同時に鞆を奪われた。**衝撃音で何が起きたのか分からず、一瞬の出来事だった。**
- 車種は、トヨタのカローラ。
- 男らは2人ともヘルメットを被っており、顔は分からなかった。



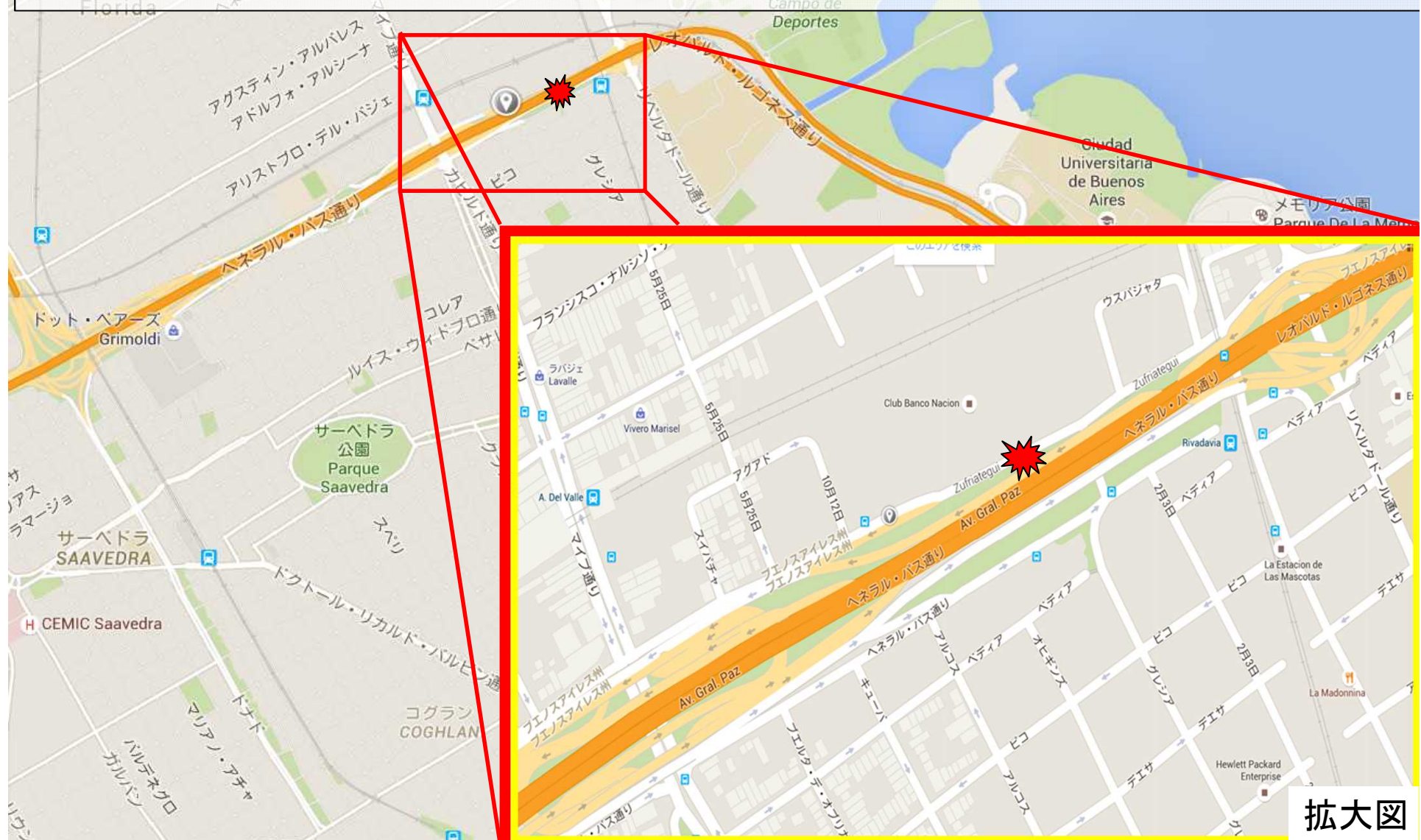
【再発防止策】

- すぐに必要のない荷物は、極力**トランクに入れるか、外から見えないような場所に置く。**
- **窓ガラスにフィルムを貼る**ことで、外から車内の様子が見えにくくなると同時に、簡単には割れないことから、**ターゲットになる可能性を減らすことができる。**
- **不審な2人乗りバイク**が同じような速度で付いてきたら要注意。可能であれば**道を譲り、前に行かせる。**(それでも付いてくるようなら、狙われている可能性が高い。)
- パスポート等、普段使用しない貴重品類は極力携行せず、自宅等で保管する。

事件④「車上荒らし被害」

【概要】2016年7月24日(日)11:00～12:00頃 路上駐車していた私有車が車上荒らしの被害
(人的被害):なし。

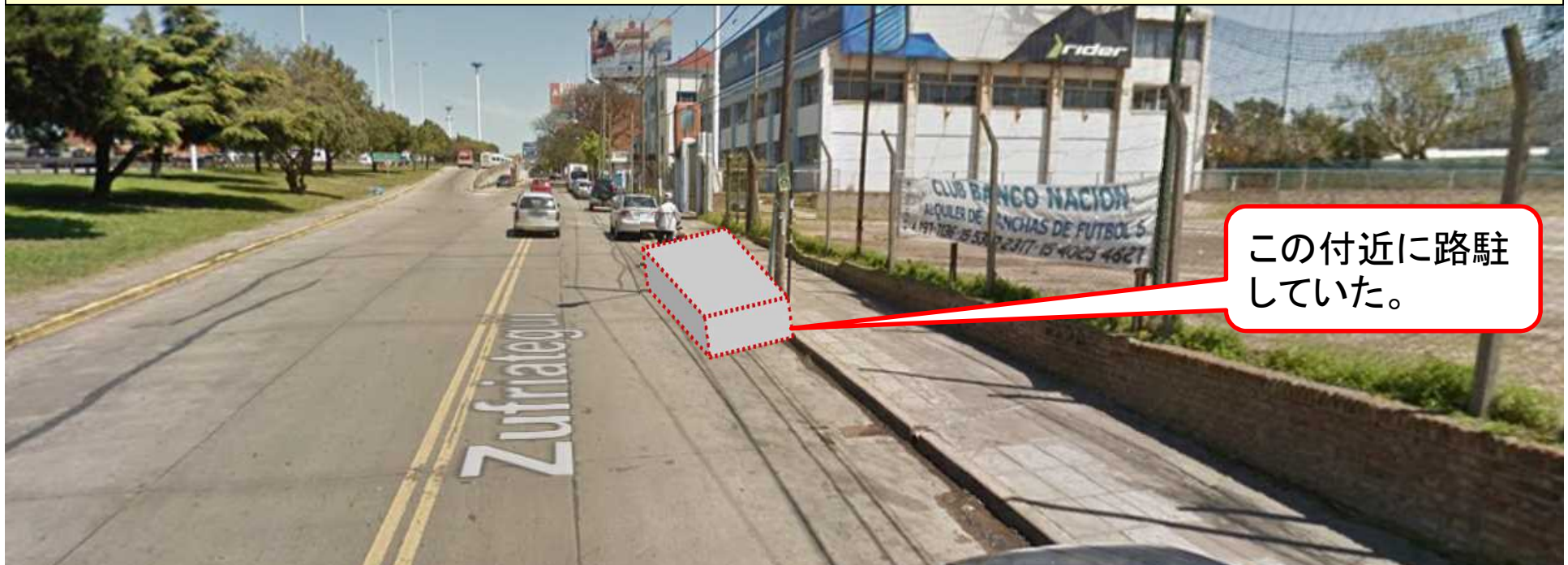
(物的被害):右側後部窓ガラス全損, カーオーディオ破壊, ポータブルナビ盗難



拡大図

被害当時の状況等

【被害時の状況等】 右側のスポーツクラブに用事があり、歩道に寄せて路駐した。他に15台ほどの駐車車両あり。**比較的歩行者等が少ない道**のようだった。被害車種はホンダCRV。窓ガラスにはフィルムが貼られていたため、簡単には車中の様子は見えなかった。**洗車したばかりであり、ピカピカだった**。他の車両に被害は無いようだった。100m程度離れた場所からたまに目視で確認していたが、犯行は確認できず。**白昼の、約1時間程度の間での犯行**。



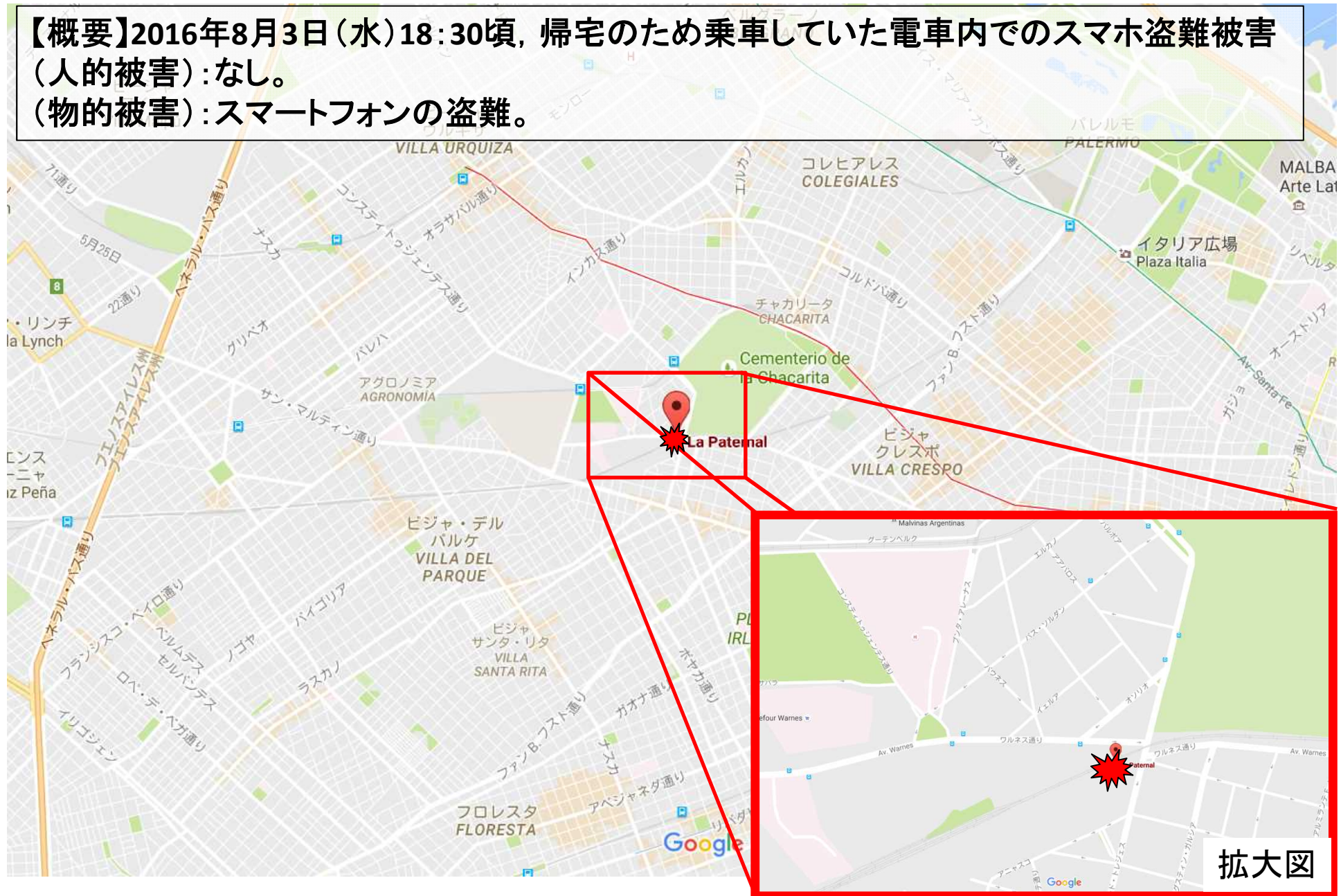
この付近に路駐していた。

【再発防止策】

- 人通りの少ない道や場所での路上駐車を避け、**管理人が常駐した有人の有料駐車場**に入れる。
- 貴重品はトランクに入れ、鍵をかけておく。**
- 敢えて車を汚しておく。(盗難のターゲットにされにくくする。)
- 駐車場がない場所へ行く場合は、努めて公共交通機関を利用する。

事件⑤ 「電車内でのスマートフォン盗難被害」

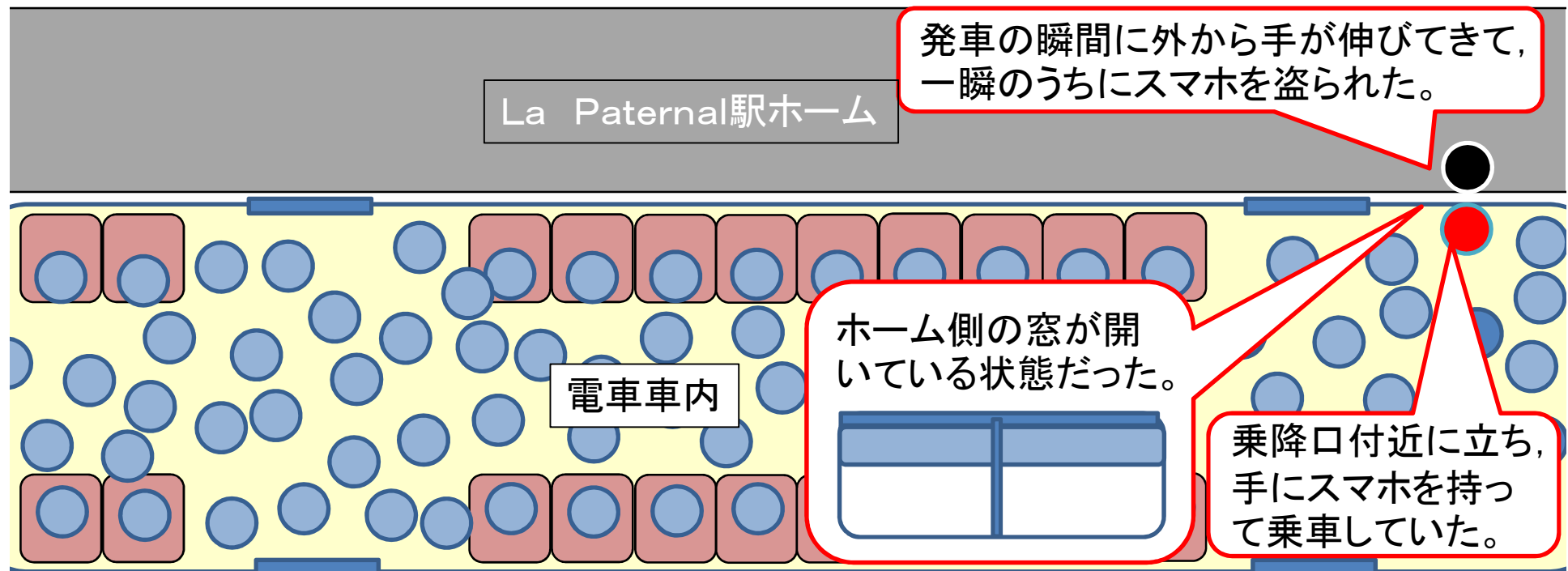
【概要】2016年8月3日(水)18:30頃, 帰宅のため乗車していた電車内でのスマホ盗難被害
(人的被害):なし。
(物的被害):スマートフォンの盗難。



拡大図

被害当時の状況及び防犯対策

【被害時の状況等】 職場から帰宅のため、電車のサン・マルティン線に乗車していたところ、レティーロ・ピラール間のLa Paternal駅でスマートフォンを盗られた。被害当時、乗降口付近に立って乗車し、窓側に背を向け寄りかかった状態でスマートフォンを手を持って操作していた。帰宅時間帯で車内は混み合っており、様子をうかがっていた他の乗車者が外に出て盗った可能性もある。



【再発防止策】

- 電車の発車や停車の前後では、スマートフォンを鞆にしまう等の注意を払う。
- 開いている窓を背にした状態でスマートフォンを操作しない。
- スマホの画面に熱中したり、イヤホンで音楽を聴いていると周囲への注意が散漫になり、また、周囲からも油断している様に見えることから、混雑した車内等での使用は必要最小限にする。

【注意喚起】「ポケモンレーナーへのお願い♪」

ついにアルゼンチンでも「ポケモンGO」がプレイできるようになりましたね。以下は、日本政府からの国内向け注意喚起ですが、この国で快適にプレイする上で特に必要と思われる箇所を赤で示しました。皆さん、**スマホの盗難**や**ビジャへの迷い込み**等がないよう十分ご注意ください。



内閣サイバーセキュリティセンターから ポケモンレーナーの みんなへおねがい♪

ロケット団だけでなく、みんなの行く手にはさまざまなトラブルが待ち受けています。みんなが楽しくニコニコとゲームを楽しめるように、以下のことについて協力してね！

1. 個人情報を守ろう

トレーナー登録するときは、本名とは違う、いかしたニックネームを付けましょう。ニックネームに本名がわかるものを使うと、あなたを追いかけてようとする人が出てくるかも。

SNSに写真を投稿するときは、家の近くのものはやめておきましょう。家が特定されます。また写真にはGPS情報が付かないように設定しましょう。

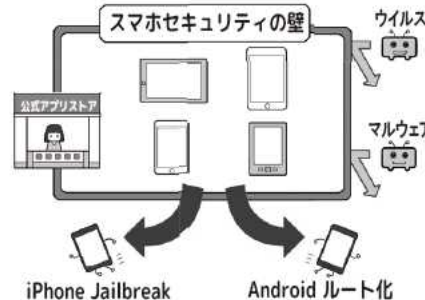


2. 偽アプリ、チートツール注意

人が多く集まるコンテンツは、悪いハッカーには絶好のターゲット！

マルウェア（≒ウイルス）入りの偽アプリがあったり、攻撃のいとぐちになるチートツールも登場するでしょう。「裏技があるからここを見て！」というのも罠かも。

また、アプリは公式ストアから正規のものを利用しましょう。



3. お天気アプリは必ず入れよう

外で遊ぶゲームだからこそ、天候には十分注意しましょう！

警報を受信できるお天気アプリを必ず入れて、警報などが出た場合はハンティングはお休みしましょう。

特に「特別警報」は「ただちに命を守る行動」が求められます。

また海岸沿いの探索は、常に避難場所を気にかけてみましょう。



【注意喚起】「ポケモンレーナーへのお願い♪」

4. 熱中症を警戒しよう

炎天下を歩き回るときは「熱中症」を警戒しましょう。熱中症の症状をよく勉強して理解し、定期的に日陰での休憩や、塩分を含む水分摂取を行いましょう。水だけを飲んでいては×です。

帽子や日傘などは有効です。汗をかくときスマホを服の中に入れておくと湿気が入ってしまいますが、みなさんはスマホを手につつので大丈夫ですね。



5. 予備の電池を持とう

位置情報ゲームは常にGPS情報を利用するので、大量に電池を消費します。そのためいつもよりかなり早く電池切れになってしまいます。

スマホはゲームだけでなく重要な連絡手段でもあるので、電池切れで電話ができなくなったりしないように、予備の電池（モバイルバッテリー）や充電器を持ち歩きましょう。

休憩時にコンセントを使わせてもらえるなら、きちんと許可を取ってこまめに充電を行いましょう。無断利用はダメです。



6. 予備の連絡手段を準備しよう

スマホの電池がなくなって、電話をかけられなくなった時のために、テレフォンカードを持ち、公衆電話の使い方を調べておきましょう。

~~子供たちだけで出かける~~ときは、迷子になってしまったときのため、出発前にパパかママに全身の写真を撮ってもらっておきましょう。

探してもらう時に、特徴を伝えてもらいやすくなります。



7. 危険な場所には立ち入らない

すでに開始されている国では、ゲームをやりながら歩いていて、車にひかれたり、池に落ちたり、蛇にかまれたり、強盗にあたりという事件が起きています。地形や治安が危険な場所には立ち入らないようにしましょう。

国によっては発砲事件も起きていますし、カメラを向けただけで拘束される場所もあるので海外では注意しましょう。



8. 会おうという人を警戒しよう

ゲームにかこつけて会おうという人には十分に警戒してください。

どうしても会わないといけなときは、おとなと一緒にいきましょう。

また人気のない場所での探索は避けましょう。別の意味でのモンスターがいるかもしれません。



9. 歩きスマホは×ですよ

歩きスマホをしていてたくさんの事故が起っています。駅のホームでは電車に接触してけがをした例もあります。歩きスマホは大変危険なのです。

ゲームにはモンスターが現れるとスマホが震えるモードもあるそうですから有効活用して、震えたら立ち止まり、周囲を確認してから見るようにしましょう。

自転車に乗りながらのプレイもちろんだめですよ。



おわりに

今回の安全情報は、被害に遭われた方々から積極的に情報提供していただいた事により、詳細な情報を広く周知することができました。心より感謝申し上げます。

大使館としましては、引き続き治安関係情報の収集に努めるとともに、皆様の安全に関わる情報について広く共有していきたいと考えております。

つきましては、被害の有無にかかわらず、邦人の安全に関わる情報がありましたら、大使館までお寄せいただきますようお願い申し上げます。

(※ 特に、ブエノスアイレス郊外における危険地域(ビジャ情報や強盗多発地域情報等)に関する情報がありましたらご一報いただけますと幸甚です。)

【大使館連絡先】

- 大使館代表
電話番号：(54-11)4318-8200 メール：taishikan@bn.mofa.go.jp
- 大使館領事部
電話番号：(54-11)4328-8220 メール：conbsas@bn.mofa.go.jp
- 竹熊警備対策官兼副領事
電話番号：(54-15)5327-0217 メール：kenichiro.takekuma@mofa.go.jp